

“会社説明会”で“会社の説明”を していませんか？

南野 真彦 株式会社新経営サービス 人事戦略研究所 コンサルタント 兼 人材紹介事業責任者

住所：京都市下京区河原町五条西入本覚寺前町830 京都EHビル6階 TEL：075-343-0770 URL：http://jinji.jp/

5月に入り2016年4月入社の新卒採用も本格化してきました。

エントリー数や説明会の予約数を日々チェックし、一喜一憂されている人事担当の方も多いのではないのでしょうか。実は、私もその1人です。

会社説明会は、数ある企業の中から貴社を探し、エントリーしてくれた応募者に初めて出会う場です。

応募者の印象が良ければ、「この人ともっと話してみたい」と思うでしょうし、印象が悪ければ「もう二度と会いたくない」と思われてしまいます。

好印象につながるチェック10項目

会社説明会においてこのことをきちんと理解し、対策ができている企業は、意外と少ないものです。

貴社の会社説明会が応募者の視点で見て好印象か否か、ぜひ、以下のチェックリストで確認してみてください。

1. 会社説明会の前に、時間・場所・持ち物等を書いたりマインドメールを送っている
2. 会社説明会の会場は分かりやすく、交通の便が良い場所にある
3. 会社説明会の会場に行くと、明るく印象の良い社員が迎えてくれる
4. 会社説明会の会場には、荷物やコート、傘等を置くところがある
5. 会社説明会の会場は、明るさ・広さ・温度・音響などが快適である
6. 会社説明会で接する社員は、生き生きとしていて魅力的である
7. 会社説明会で聞く内容は、HPや就職サイトに載っておらず、新鮮である
8. 会社説明会では、一方的に話を聞くだけでなく、社員と気軽に話す時間がある
9. 会社説明会のスライドは、聞き手が理解しやすいように工夫がされている

10. 会社説明会で配られる資料は、様々な情報が載っており、読むのが楽しみである

いかがでしょうか。ここに挙げた以外にも、応募者の印象を左右する要素はたくさんあります。

会社説明会に参加した応募者が、その後の選考に進む確率が50%を切るような場合は、早急に対策が必要です。

できれば70%や80%を超えるように、会社説明会でしっかりと動機づけを行っていただきたいと希望します。

ただし、確率が高くても求める学生が少ない場合は、そもそもの母集団の質に問題がありますので、別の対策が必要です。

応募者の目線で内容を練り直す

「会社説明会」だからといって、「会社の説明をする」ことに終始せず、応募者の目線で、楽しく、分かりやすく、学びのある場となるよう、プログラムやオペレーションを改善してみてください。

特に、会社の沿革や事業内容について、延々と語られる企業もありますが、HPやパンフレットを読めば分かる内容を話すのは時間の無駄です。

それよりも、生でしか伝えられないことを伝える、そして一方的ではなく双方向での説明会にすることがポイントです。

どのような説明会が良いのか分からない、自分たちでは作れない、とお悩みのお気軽にご相談ください。以下のセミナーでもお聞きいただけます。

2015年5月27日(水) 10:00~17:00 東京会場
"もう失敗したくない" 経営者・人事担当者のための
『面接官トレーニング』
<http://jinji.jp/seminar/2015/0527-421892.php>

【失敗しないための採用面接マニュアル プレゼント】
下記のサイトより無料でダウンロードしていただけます。
<http://jinji.jp/hrm/interview/index.php>